（七日夕刊）
磐城新聞
休刊 大祭日翌日 第三日曜
定價 一部二錢 一ヶ月六十錢 郵税十五錢
廣告料 壹行六十錢 指定廿錢増
發行兼編輯印刷人 鹽沼龍輔
福島縣平町田町十六番地
發行所 磐城新聞社 電話五六四番

不具者の立場から（三）

草野村　富岡武夫

然ら法律なるものは一の氣の毒な人間を適當に保護してゐるかと云ふとそんな氣の氣いた條文は一つも無く寧ろ排斥してゐるのであります

又財産管理が不能であると云ふ點から禁治産者準禁治産者として社會的行動まで禁つて居るのであります。こうした法律は時として彼後見人が聾唖者であり不具者であると云ふ事を奇貨として起りこれは所謂家庭悲劇となつて現れることがあるのであります

斯く考へます時に現代は適者生存の世の中であつては聾唖者は適人者でないと云ふ事になります

諸君

不具者は本當に適者でないのでありませうか

豊太閤死して豊家の礎が崩れかゝつた時關が原の戰に起つた關西側の軍師は西國と云ふ腰の立たぬ盲で聾であります

アメリカのヘンケラーは盲で聾で唖でありますが大學を卒業し深山の著書を現して居ります

故に不具者と雖も不適者と云はれない筈であります

私達が不幸に泣かねばならぬ原因はそれは現代社會

聾唖者は役に立ゝぬ底腦で無智だ。と云ふ誤れる觀念、支配されて然もこうした誤つた觀念が現代社會の根本をなして排斥する所から來るのであります

故に私達は文明人として待遇を受けることが出來ないのであります

かくて私達は昭和聖代か世になつても文明を誇る現代社會に於て不幸にも社會的慘敗者であり廢物とされ生れ乍ら社會的死人にされつゝあると叫びたいのであります

不具者を社會的死人とする。不具なるが故に役にたゝぬから殺すのであることゝ少しも變りないのみならず生き乍らにして死人扱ひすることは尚一層慘酷でないかと重ねて諸君に訴へたい位であります

文明を誇る現代はこの點に於て野蠻人であります

我々こそ文明人なりと云ふ人達も矢張り野蠻人であります

然し乍らこの點に就て更に深く考へて見ますとそれは必ずしも現代人そのものゝ責任ではなくして寧ろ現代專制社會制度が生み出すところの避くべからざる不合理でないかと見らるゝのであります

※明日の吉凶※　舊曆九日　新曆三月八日

▲一白　目上に見へて居ても手に入る事遲し急ぐな▲二黒　誠意十分なれば勝利の榮冠を把る事を得る▲三碧　何事も物足らぬ思ひに暮るゝ日焦るは大凶▲四緑　陰は人を待たず午後あることを頼む勿れ▲五黄　鎭靜より發動に移り行く隆運の日大に勵め▲六白　物事行き詰まりを生じ易し急げば急ぐほど凶▲七赤　不圖して怒氣を生じ出來し近く事を破る日▲八白　足跡を定めて根強く進むときは事成るべし▲九紫　元氣を充實し心を固めて急がず吉日たらん

講談　奇傑高山彦九郎（18）

西洋々作　布施長春齋

假初の宿（六）

自稱醫者と名乘り、手習ひの師匠と稱する男――それにしては、その言葉があまりに丁寧にすぎます。いぶかしくは思ひましたが、別に訊ね返す程こ……でもありませんから、彦九郎もそのまゝ口をつくんでしまいました。

「あすこが、手前の家でございます」

ふと立止まつてさういつて示すところを見ると、つひ近く木の間がくれにかすかな光りがもれて居りました。

「四五日前から、旅のお人が一人病氣で身をよせて居られますが、決して、氣兼ねなさることはございませんさあ、どうぞ……」

今迄通つて來た道から、左に折れて彦九郎をその家の方に案内いたしました。

近づいて見ると、成程、田舍にしては如何にも醫師の家らしい、門構への相當な家でした。提灯の光りを戸の隙間もるゝ、内なる光りをたよりに、微かに透して見ると、餘程に大きいらしい家の輪廓が、たぼろ乍らに闇に浮いて見れます。

「立派なお構ひでござるな……」

から世辭らしく云ひますと。

「いゝゑ、これは村の庄屋樣の家を、半分だけ借りして居るのでございます」

かういつて、醫師は始めて笑ひを洩らしました。

その爲か、門を入つても正面の玄關からは入らずに左手に、棟を異にして建てられた家の前に立ちました……。

がらり、表戸をあけますと。

「お歸りなされましたか」

丁寧な言葉で、かう云ひ乍ら立ち出でたのは、三十路の坂に辿りついたかとも見ゆる、品のよい婦人でした。

「お客樣をお連れ申した」

斯う、女には云つて置いて。

「さあ、どうぞ、お入り下さいませ」

と、彦九郎を内に携ひました。

「御免下され」

暫く躊躇して居りましたが、構はず中に入りました……。

「これは、お出でなさいませ」

と、女は丁寧に出迎へて

「さぞお寒いことでございましたでせう、さあどうぞお上り下さいませ」

かういつて、洗足の盃に湯を注いでくれるといふ、もてなし振りです。

上にあがり、奥の間とぉ思はる所に通されてから改めて、彦九郎は挨拶をいたしました。

「拙者ことは、上州新田の産、高山彦九郎正之と申しまする者、今宵はまた意外の御厄介に相成り、何とも御禮の申し樣がムらぬ」

「これは、御挨拶痛み入ります」

男は、叮嚀に禮を返しました。

「私ことは、名を申し上げ程のものでムいませぬが、和田江水と申しまする業の端くれ、何ぞそれ見知り置き下さりませ」

燈火のもとに見れば、三十五六の立派な相をもつや男、如何にもゐしらしく髪を茶せんに結んで居りました。

そこに、最前の婦人が、茶を汲んでもつて參りましたが、そのとき、ふと隣室に人の咳入る音がきこえました。

「たや」

と、彦九郎が不審の眉をひそめたとき。

「おゝ、先生は其の後如何ぢやつたな」

和田江水は、妻に訊ねました。

「はい、大變お樂なようでございましたが……」

「おゝ、左樣か」

かう云つて呟きましたが何か氣に成るらしく。

「高山樣、失禮にございますが、暫らく中座させて頂きます」

かう云つて座を下りました。

カバンと帽子
入學進級にはゼヒ「ツルヤ」へ
新しい丈夫な品が得られます
平町四丁目
ツルヤ
電一四〇

スッポン飴　一圓　二圓
スッポン酒　二圓
スッポンヘモクロビン錠　三圓
平町五丁目角
山野邊藥局

內科診療
消化器病科　呼吸器科
小兒內科　一般內科
入院應需（自炊ノ便アリ）
平町鼠坂
渡邊內科醫院
電話一六一番

內科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋疾　市原三三男
皮膚病
平町田町本通
市原醫院
（入院隨時）
電話一一四番

清釀世界　吉　造元
銘酒
各炭鑛御用達
石城小名濱町
清水屋
小野晉平
電話六番

開業廣告
今般左記ノ通リ開業致候間此段及謹告候
敬具
昭和五年三月一日
專門　內科一般
時間午前七時より午後十時迄
宅診往診
但し急患はこの限りにあらず
平町南町六五（元大和田耳鼻科跡）
川井內科診療所
電話七二二番
醫學士　川井重之
女醫　川井安子

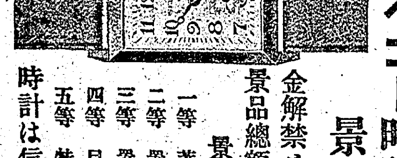
外科一般（入院隨意）
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

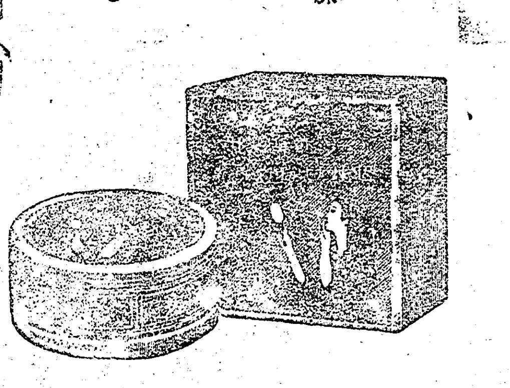
——正確に時示——
高橋時計工作所
平町土橋通り
十四五才のもの徒弟入用

吉田眼科醫院

宮內省御用達

ヒゲタ醬油
釀造元　銚子醬油株式會社
平町田町
特約店　廣瀬支店
電話五四番


セイコー時計の値下斷行
景品は特賣
金解禁と…國產品の愛用…
景品總額金拾貳萬圓
景品內譯
一等　蓄音器壹台　三百六十本
二等　置時計壹ヶ　五百本
三等　置時計壹ヶ　一千本
四等　目覺時計壹ヶ　五千本
五等　特製ナイフ　全部へ
時計は信用ある精工舍製品を
特約店　大谷時計病院
電話十九番

化粧くづれのない
固煉白粉
一　汗で化粧くづれにお困りの方は、是非ホシ美固練白粉をおつけ遊ばせ。
二　ホシ美固練白粉は、化粧くづれのない上にノリ、ノビがよく、化粧榮のする特徴を有つてゐます。
三　このホシ美固練白粉こそ、皆樣の御滿足を購ふことの出來る品でございます。
ホシ美固煉白粉

東京　星製藥株式會社　大島

助役の増俸案を投票で否決
修正通り可決した平町の豫算町會

平町の豫算町會は昨報の如く六日午後一時半から開會靑沼豫算委員長から
委員會にないては歳出中役場費から書記一名減五百十八圓及び職業紹介所職員一名減五百八十七圓を各減じたが小學校の學級整理中三學級を復活し第一小學校費千六百五十圓、第二小學校費八百三十五圓を增したが商業學校費校長以下の增俸を見合せ千二百六十九圓を減額、又街路撒水費三千七百圓を原案撤回し一方町會議員費用弁償の手當日額二圓を一圓五十錢に引下げて歳入出の辻褄を合せた
と報告異議なく修正案通り可決したが助役の增俸案は午後三時から秘密會に入り無記名投票を行つた結果十六對十一で否決となり午後五時再開總豫算を三十一萬七千八百四十九圓と修正可決それより水道部の特別會計に入り之また修正案通り可決六時散會した

四倉沖に大敷網
認可を申請

磐城各濱を通じて近年定置漁業が發達し豊間、小名濱植田の三箇所並に双葉郡久の濱 四箇所に大敷網ができ相當の成績を納めて居り沿岸の漁業はこの定置漁業が規模が大きいだけに全盛を極めてゐる有樣であるが岩手縣宮古町の資産家坂本嘉平氏は四倉濱の沖合一浬の魚區に於て大敷網をなすべく農林省に認可方を申請中の處この程認可になつたので目下事業開始の準備をなしつゝある由だが大敷網開始費用は二十萬圓を要するとの事で、四倉町としては町が繁榮になるといふので却て喜んでゐる

平軍人分會の陸軍記念日

平町在郷軍人分會では十日の陸軍記念日は皇國の興廢を一擧に決した奉天大會戰の滿廿五年に當るのでめでたく記念祭を行ふべく午前八時半千餘の會員は松ヶ岡公園內の尼子亭に集會、勇士の眠る忠魂碑を眞心こめて拭掃した後再び尼子亭に歸つて總會を開き功勞者二名の表彰式を擧行續いて山內大佐等の實戰談を聞き、正午から公園內の梅林で園遊會を催すと

婦人家庭生活の改善講演會
十三日入遠野で

本縣では從來青少年の思想向上のため各種催しを爲し專ら男子、教養方面に主力を注いで來たが本年は婦人教養にも力を注ぐこととなり其第一着手として來る十三日石城郡入遠野村小學校に於て家庭經濟生活改善講演會を開くことになつた講師は水谷社會課長、吉田社會事業主事補の兩氏で午後一時から四時まで一般家庭主婦、女子青年團員其他多數の來聽を希望する

妙な特効藥
香具師檢擧

三重縣生れ香具師東庄次郎(三八)千葉縣生れ勝又榮藏(三四)の兩名は平驛附近で切りきずの特効藥蛇の油と稱して白っふと種油を練合せたものを一個三十錢乃至五十錢で賣つたのでこの程平署に捕はる

大越中佐の講演會

七日內郷第二で
內郷第二尋常小學校內大越會主催にて七日午後一時より伊藤南州氏の故大越中佐に關する講演會を催するが大越中佐は內郷村大字白水字柳の內の一農家に生れ(慶應三年七月廿七日)陸軍士官學校出身明治三十八年日露戰爭奉天總攻擊の際敵の逆襲に逢ひ李官保に於て三月七日午後六時三十分戰死したる人である

無理に泊め
科料が十五圓

平町南町五〇飲食店千代野屋事小林チヨ方に一月二十三日登樓した同町材木町二九齋藤政一(四七)を無理に宿泊せしめ抱へ酌婦齋藤よし子(一七)及び同目黒はるよ(三〇)の兩名をつかつて無理に飲食物を提供宿泊せしめ宿料飲食代等九十圓をまき上げた事判明五日平署に檢擧新取締法により科料十五圓を申渡された

高田橋架替
四月下旬に完成

石城郡澤渡村大字中寺地內縣道好間川に架設してある高田橋は木橋であり交通上危險なので平土木監督所で調査中であつたが愈々工費九千三百八十五圓を投じ巾二間半長さ四十間鐵筋コンクリートの橋梁にかけ替る事になり去る四日着工したが四月下旬迄には完成する豫定であると

全國初めての試み 溫泉を利用し
農產促成栽培 內郷村に於て

石城郡農會では縣と協力して內郷村において溫泉利用の促成試驗栽培を行ふことになつた而して農林省ではこの計畫に對し大いに贊意を表し相當の經費補助を寄附し專ら研究試驗せしめたいとの意嚮を有してゐるので縣でも大いに意氣込んでゐる本邦におけるこの種栽培は從來副業的に行はれてゐるが、かく溫泉利用の促成栽培は全國でも最初の試みでその成り行は非常に注目されてゐる若し同地にして適當となれば縣では全縣下に奬勵普及せしめる豫定である

算術教授法 研究會開催
平小學校で

石城郡平町外三十三箇町村各小學校算術教授法研究會は來る八日午前九時から平町第一小學校講堂に於て開催會員の研究發表並に協議を行ふ

他郷で惡事
房枝水戸で捕る

石城郡飯野村大字上高久鈴木房枝(三九)は去る二月五日午後二時頃水戸市上市元山町荻野谷みつ方の不在中に忍び入り奧座敷から衣類三點女下駄一足代價三十餘圓を竊盜逃走したこと發覺水戸署の取調をうけて三日竊盜犯として水戸檢事局へおくられた(水戸電話)

勿來豫算町會
七日町役場に開く

豫算編成期に當面しながら安閑たる態度に物議をかもしてゐた勿來町では非難の聲高まるにつれ極度に狼狽し大平町長は急遽豫算を編成今七日午前十時より五年度豫算および四年度決算並に小學校敷地處分等に關し町會を開くこととなつた

運命を豫知する者(上)
平研　染川光一郎

人生有爲轉變は浮世の常などいふのは薄志弱行の輩だ弱者の世迷い言だとゝ人生唯努力あるのみ忍耐あるのみと強がる先生もあるがさて世の中の活きた舞臺を見渡すと朝に星を載き夕べに月を踏んで營ゝとして業にいそしみ乍ら猶貧苦におびやかさるゝ者ありさしたる學問技藝があるのでなくても內に美酒佳肴に飽き美妾に擁せられ外に自動車で砂煙を浴びせ乍ら我こそ天下の紳士と豪奢な一代を誇る果報者もある。

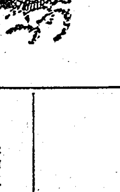
ミヽズを切つたり蛙を飛ばした田吾作の小伜が千萬兩の富を得て一世に誇る大實業家となつたり磯に沙漿く海士の娘が何爵夫人と澄し込むかと思へば又巨萬の富と榮爵を襲ひだ何某樣でも親が死ぬと家も屋敷も人手に渡し、何の局と光榮ある身でも夫の沒後はお家も沒落。住むに家なき假住居と洒落にもならぬミヂメさ之は一体全體鬼神の仕業か惡魔の惡戯か、否々、世間すのである、一体運命とは何んなものかと尋ねて見れば、運命は何時でも尻つぽ計りでアタマが見えない。數學が示す樣に何時でも三三が九ならば天下は泰平、家門は繁昌、此世ながらの極樂世界が出現するかも知れないが人生行路は寸前尺魔、一寸先きは闇とも云へる。

運命の行先きが誰にとつても欲しられる題目となつたのは一面當然の當然でもある。

元來運とはハコブでありメグラスである此の實在界にあつては悉く動くのが原則である、其動きメグルの中に一つの法則があるのだから此法則を捉へれば動き方メグリ方が知れるのである この動きが吾々人間に感せしむるものは時の流れである、その流れに自己が其處へ位置を占有して始めて吉凶禍福を受けるのである。

然し世間では之を神秘的運命だと稱して居る、そこで常識では知り得ない運命の豫知法が國の東西を問はず古今を論せず或は學究的に或は經驗的に研究せられてゐるのである。

先天的運命觀には宿命說とか五行干支說九星術、星宿說、天源淘宮等の生れ時に基く說、又形体說に包含される遺傳說、人相、手相、骨相、パアミストリー、指紋法等があり後天的運命觀には周易の科學的應用法や俗間の神託とか降靈、神籤の雜多に亙る運命豫知法としての數々は既揭の他にも未だ／＼あるが夫々時代の變遷とゝ共に各命數で終つて行く樣である。



生徒募集
菊田實業校

植田町菊多實業學校では昭和五年度入學志願者募集中であるが本年は新に農業上の學理を教授する爲め男子部には溫床桑園新設又女子部には新にミシン機四臺を買入し益々地方青年の向上を計り之が志望者は逐年增加の傾向である

兎一羽の罪
惣助檢事局に送る

內郷村高坂字立野本明惣助(三八)は去月十四日午後三時同村三本杉地內に於て二十八番型鐵砲を使用し高坂工夫齋藤善吉(三八)同村小林兒三郎(四二)の兩人を勢子に使用し兎一匹を捕獲した事平署に探知され取調の上狩獵法違反として平檢事局に送られたと

朝鮮人さ 人妻驅落
幼兒を殘して

豐間村矢部丑松內縁の妻鈴木テル(二四)は去る三日二日午後一時頃愛兒二人を殘し兼ねて情交を續けてゐた朝鮮人李貴峯こと木村千代吉と手に手を取つて姿を消したので夫丑松は幼子二人を抱いて平署に妻の行衞搜索を依賴したと

香野水道課長逝去
弔慰金贈呈の件で けふ急施町會

平町水道課長香野利一郎氏は昨報の如く腦溢血にて加療中六日午後六時半逝去したが享年五十七歲五男四女を殘し去る大正十一年から平町上水道の爲め功勞多く町當局は今七日午後四時より急施町會を開き弔慰金贈呈の件を附議すると

四倉局の二月中成績

四倉郵便局の二月中の貯金高並に個數拂出金高並に個數は左の通りであると
一、貯金高二萬八千九百九十九圓七十一錢個數千九十一個
二、拂出金額二萬一千八百五圓四十五錢個數四百四十一個

仙台高工生
實地測量に 九日來郡

仙臺高等工學校土木科生徒六十八名は來る九日より約二週間の豫定にて實地測量實習の爲め、郡四倉町海濱館に三十六名、久之濱町龜屋旅館に三十二名投宿する

金庫を破る
少年平署に逮捕

平町月見町靑木菓子店雇人吉田三郎(一七)假名は昨年十二月近所の鈴木元治方留守宅から銀側時計を竊盜したのを手始めに主人の金三十圓を、更に去る二日夕金庫內から五圓を竊取逃走行方を晦ましてゐたが四日朝平館に於て活動見物中逮捕された

紅燈街

何と云ふヘンな氣候でせうね……

不景氣とかをヨソに泉驛前には電話も出來藝妓屋さい開業され鈴奴、春丸二人と半玉とが三筋の糸と肥桶ばかりでなく大鼓迄ゝ勢ひよく一本卅五錢の緊縮價格で大賑が植田でも梅の盛りは過ぎ麥は伸びて『三桝』ではた茶ら(一七)鶴の家ではかほる(三)米ちやん、姐さんのバチさばきでミッチリ糸も踊りも仕込み半玉の茶目と共にた披露目でよろしく……と列を造れば『みどり』では磯濱本場から小沼まつ子(一七)をぽんたとして……今晚は………景氣はいいわね！と云へば御主人ナンノ死物狂だぞ？

平町人事

▲死亡
搔槌小路香野利一氏(五七)

記者募集

記者　一名

右至急募集す、中學三年修業程度の學力を有し身体强健、新聞記者生活に趣味を有するもの（但し平町居住者に限る）履歷書持參本人午前中來社あれ委細面談

磐城新聞社

酒の話(二)
酒に調和する樽
吉野杉の効用

酒によつて最も關係の深い樽とか其他の釀造に用ふる桶の材料は灘で用ひてゐる吉野杉が一番良いのですが、これが良いと云ふ理由は匂ひが良いと云ふ許りではなく杉そのものから出る味が、極めて酒に

調　和　して好いもので之に酒を詰て置けば詰て置く程良い味が出て來る、つまり杉と酒とが調和して本當に熟して來ると實に美味となつて來ます、そこへ行くと奥羽邊は自體杉—木か澤山ある所に、杉　樽でも桶　も不自由する筈はないのですが吉野の杉のやうな成績を見ることは出來ません、そして伐採の時期とか云ふ種々な點について研究しては居りますが、まだ研究の實は擧がらず己むなく

不　便　なのにも拘らずわざ／＼吉野の杉を取寄せて、それで作つた樽に入れて賣り出して居ります、御存知、酒樽を包む菰とか菰の裝飾を行ふ者迄灘から職人を呼んでやつて居るやうです、中には吉野杉では高價につくといふところから秋田の杉或は日向の杉を用ふる所もあります、杉をの物として仔細に調べてみても變りはないのですが矢張

匂　ひ　の點が如何しても程よく行かず、秋田の杉にしても日向の杉にしても匂ひが少し强すぎてしまつて酒とよく調和しませんこれに就いて思ひ出すのはよく關西で飲んだ酒は美味しかつたが東京の酒は不味くていけない如何した譯かと云ふことを誰からも聞くことです、本當を云ふと決してこんな事はある筈はないので灘の製造元では大阪邊に賣出す酒は地場賣りと言つて

こ　の　次に廻す酒を賣出して、東京に向けて一番良い酒を選んで出してゐるやうな譯です、勿論大阪の酒の方が强いとは思はれます、それは大阪や灘とでは直ぐ近くで便利が好い爲に通ひ桶と稱して藏元で酒を詰た桶を持つて行つてその歸りに直ぐ空いた樽を持つて、又それに詰ると云ふやうになるので、酒が强いと云ふことは確です、然しそれは桶へ貯へたその儘の味であつて、杉の木と

酒　の　味が調和して生れた醇乎たる風味がありません、東京方面へ賣出すものとなると、先づ新樽を吉野杉で作つてこの中に酒をつめて送ります、送ると問屋で二週間なり三週間なり倉庫の中にその儘貯かれる、その中に木の味と酒とが好い按配に調和して酒の味が熟成して來た時に風味が出て來る、所謂木香が高くなつて來るので、そればかりか味が又極めて柔かな

舌　觸　りのよいものになります、つまり關西方面の酒は貯藏した儘なので强く、東京方面に來た酒は樽に馴れてしまつてゐるので圓熟して頗る柔かく味が良いので、この關係から强い酒の好きな人には關西方面の酒が好かれませうが、多くは東京方面の熟成した木香の高い酒の方を美味いと感じるでせう

第三十一回 生徒募集
△募集人員　八十名
△修業年限　兩科を通じて一ヶ年
△入學資格　（高等小學校卒業若しくは之と同等の學力あるもの（無試驗入學を許す）
△願書提出期間は四月八日迄
△寄宿は自炊の便あり
平町一丁目
石城產科婦看護婦學校
校長　鷲崎千代
電話(三七五番)

內臟外科　整形外科　產科　婦人科
醫學博士　藤本順
院長　木村寅次郎
平町新川町　電話一四番
木村病院

X光線　外科專門
入院隨意（自炊の便あり）
平　南町
上田外科醫院
電話一二九
增築落成　病室完備

特賣!!
たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領
花春　同　優等賞受領
醬油釀造元
鹽屋　山崎合名會社
電話一〇番

亡母繁子儀葬送の際は御多忙の折柄態々御會葬被成下且つ過分御香奠を賜り候段乍略儀紙上を以て御厚禮申上候
昭和五年三月七日
男　佐々木龍若
外親戚一同